

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

只見町学校給食センターにおけるSDGsの推進

只見町学校給食センターでは、SDGsの内、次の7つの目標達成に向けた活動を推進していきます。

●行動目標 1. 貧困をなくそう



・豊かな食材、豊かな味わい、豊かな献立の学校給食を提供することにより、貧困防止のための活動を推進します。

・学校へ行き、食育も含めたしっかりとした教育を受けてもらうことで、貧困の連鎖を防ぎます。

●行動目標 2. 飢餓をゼロに



・全ての児童生徒に安全安心な学校給食を提供し、飢餓を減らします。

・学校給食を通じて食への意識を高め、各家庭における食生活の改善につなげます。

●行動目標 3. すべての人に健康と福祉を



・健康と福祉のために、全ての児童生徒に学校給食を提供します。

・学校給食が健康と福祉のために果たしている役割について、普及啓発を図ります。

●行動目標 4. 質の高い教育をみんなに



・学校給食は、知育・体育・徳育の土台となる食育の教材です。教育の土台である学校給食を安定的に提供し、「質の高い教育」を支えます。

・「食」に向き合う機会を提供し、「食」への意識を高め、持続可能な未来へ向けた行動につなげます。

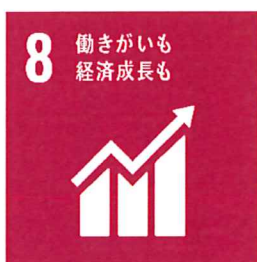
●行動目標 5. ジェンダー平等を実現しよう



・以前は女性の仕事というイメージがあった学校給食調理について、これからは男女の性区分に捉われず、一人の人間として社会で活躍する場であることを確立します。

・給食当番や配膳は男女の性区分に関係なく、全ての児童生徒がお互いのために給食を配膳する、ジェンダーの無い社会づくりを推進します。

●行動目標 8. 働きがいも経済成長も



・学校給食の「作り手と食べ手」、お互いの顔が見える関係を構築し、働きがいと経済成長の両立を実現します。

・全ての児童生徒から期待される学校給食づくりを実現し、やりがいを持って働ける質の高い学校給食センターとして持続的に運営します。

●行動目標 12. つくる責任つかう責任



・「なぜ」給食を残さない方が良いのか学びを深め、食品ロスを無くすためにできることを自ら考え、行動し、学校給食「残食ゼロ」を目指します。

・食材の地産地消を推進し、只見町で採れた食料を大切に食べる思いを醸成し、「つくる責任つかう責任」についての理解を深めます。